

元気そうに見える猫も
心臓病を隠している
かもしれません。



心臓病を早期発見するための検査をご紹介します。

猫の心臓バイオマーカー NT-pro BNP 検査



どんな検査ですか？

血液中のNT-proBNP濃度を測定する検査です。

BNP(B型ナトリウム利尿ペプチド)は、心筋に負担がかかったときに放出されるホルモンで、心臓バイオマーカーとして使用されます。

猫のNT-proBNP検査は2種類

- 迅速に高値／正常がわかる院内検査キット —
犬より症状がわかりづらい猫の心臓病を院内で迅速に調べる検査です。
- 結果が数値でわかるCardiopet[®] proBNP検査 —
早期発見だけでなく、長期にわたって治療をコントロールするための客観的な判断に役立ちます。

検査は痛くないの？

NT-proBNP検査は、採血だけでできる検査です。少しの血液を採血するだけで動物の体にほとんど負担がかかりません。

暴れてX線検査や心エコー検査などをいやがる猫にも適しています。



心臓病は、NT-proBNP検査に加え、
以下の検査により総合的に診断を行います。

聴診：

猫は犬と比べて、聴診による心臓病の診断が難しいことがあります。



X線、心エコー図、心電図等：

心臓の大きさや内部構造の異常の検出、
不整脈の診断などを行います。

特に心エコー検査では心臓の収縮力、
血液の流れや速度などもわかります。





どの猫種でも心臓病になる可能性はありますが、
以下のような種類でよく見られます。

- アメリカン・ショートヘア ● メインクーン
- ペルシャ ● シyam ● ラグドール
- ノルウェイジャン・フォレスト・キャット
- スフィンクス

健康に見える猫の16%が心臓病を持っていた、
という米国の研究報告*があります。

一般的に猫の心臓病は犬より症状がわかりづらいため
早期発見のための検査がより大切です！

* Paige CF, Abott JA, Pyle RL, Elvinger F. Prevalence of Cardiomyopathy in apparently healthy cats. JAVMA 2009;234(11) 1398